



総務 常任委員会

“子育て上手” 茨城県常陸太田市に学ぶ

少子化・人口減少問題には総合的な対策を

男孝和み一
眞則嘉け榮
川原藤あ田
石笠齊筑島
委員長
委員
副委員
委

今回はこのメンバーで、少子化・人口減少対策の先進地、茨城県常陸太田市を視察してきました。



●常陸太田市の取り組みは

- 常陸太田市は、面積約372km²、人口約5万3000人の茨城県最北部に位置する自治体です。玉村町と比較すると、面積は約14倍の広さながら、人口は1.4倍ほどの規模となっています。少子化・人口減少問題は全国自治体の共通課題となっていますが、常陸太田市は次のような重点政策に取り組んでいます。
1. 転入促進・転出抑制政策
 - ①新家庭の家賃助成
 - ②住宅取得促進助成
 - ③常陽・筑波銀行の「常陸太田市子育て支援住宅ローン」で金利補給
 - ④民間賃貸住宅建築促進助成
 - ⑤市営住宅の入居要件緩和等
 2. 雇用安定化のための企業誘致
 3. 結婚相談センター「YOU愛ネット」の運営

●注目すべき、結婚相談センター「YOU愛ネット」の運営状況

専門の相談員2人が、結婚希望者、独身の子を持つ親からの相談に対応し、相手探しからお見合いまでサポートしています。平成22年度から始まり、既に60組以上の成婚数があるとのこと。また、NPO法人に委託し、年6回の出会いのイベントも開催しており、平成25年度だけでも29組のカップルが誕生しています。

たくさんの子育て家庭
応援情報が！

まとめ

常陸太田市は少子化・人口減少対策に、その原因を教育費の高さや所得格差の拡大等社会的要因としてとらえ、総合的に対策を講じています。特に、結婚相談センターの運営やNPO法人に委託しての男女の交流会などを実践し、大きな成果をあげているのを見たとき、玉村町も「ためらいから希望」へと一歩踏み出してもいいのではないだろうかと考えます。



経済建設 常任委員会

課題山積の水道事業

安全な水の供給のため、計画的な事業推進を

委員長 備前島久仁子
副委員長 町田宗宏
委員 石橋茂樹
高橋茂宏
石高川

今回はこのメンバーで、玉村町の水道事業を調査しました。



●玉村町の上水道事業の現状と課題

昭和期に布設された配水管の多くは、石綿管(※石綿管のアスベストは、厚生労働省から人体に影響がないと報告されている)と塩化ビニール管ですが、耐震性も劣っているため、老朽化している本管は早期の更新が必要です。しかし、更新するための自主財源がなく、企業債の発行により財源を確保していかねばなりません。過大な借入れは将来の住民負担増を招きます。人口も使用料収入も減少しているため、適正な料金収入を考慮しながら事業経営していくことが課題となっています。

●町の水道水は

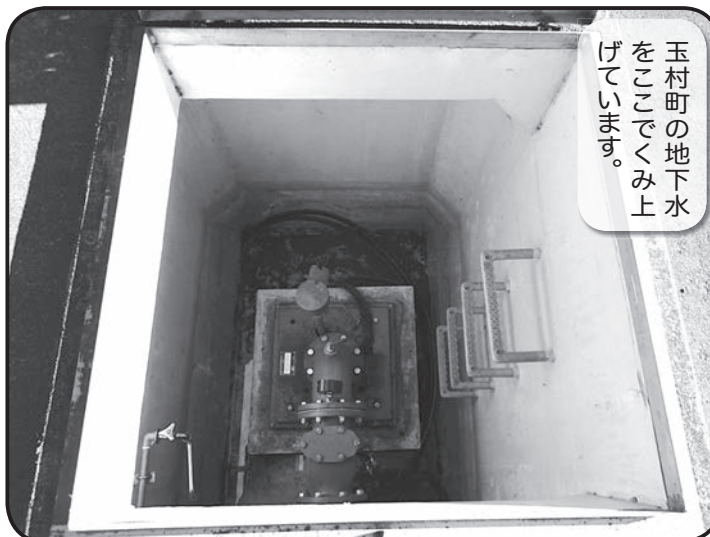
玉村町では、町内でくみ上げた地下水と、県央第二水道から供給された水を水道庁舎内の配水池で混合し、配水しています。県央第二水道の水道水は町全体の17%を占め、107円/m³で購入しています。玉村町の地下水の量は安定していますが、夏場は不足することもあります。



中長期計画の中では、解体することが決まっている高架水槽

まとめ

計画の中では、今後3億円かけて新たな高架水槽を整備し、さらに2億円かけて現在の高架水槽を解体することになっています。しかし、高架水槽に代わる庄送式の新設も検討する余地があると考えます。そして、既存の高架水槽は、町のシンボルとして残すことを検討してほしいと思います。さまざまな課題が山積している水道事業ですが、中長期的な視点で検討し、計画を確実に実行していくことを要望したいと思います。



玉村町の地下水をここでくみ上げています。

こんな議案を審議しました

そこが聞きたい一般質問

委員会のついで

その他